

これまでどうもありがとう！
パチスタの名物企画を振り返る「最終号大特集」



パチスタTV 終日公開収録 Final

月刊パチスタは今号が最終号。「パチスタがなくなっても、映像と記憶は残り続けます!!」そっか!!いつでもYoutube上で会えるんだね♪ってことで、パチスタ編集部員達が魂と命(!?)を削って長年お送りし続けてきた「パチスタTV終日公開収録」の大特集をやっちゃいます。

パチスタTVに まつわるアレコレ

「由来」と言うと仰々しいけれど、「番組だけ」「パチスタ誌面だけ」で楽しんでいる方は是非知っておいて!!最近パチスタTVの存在を知ったって方も必見。



▲月刊パチスタ2007年12月号にて告知初掲載

「パチスタ祭」が
パチスタTVの原点!

パチスタ編集部員が勢揃いしての元祖終日実戦企画。
「他のお客さんと同条件での自腹ガチンコ終日実戦」の名のもと、2007年11月27日に初開催。黄色い誌面とそのスタイルは、現在のパチスタTVに踏襲されています。
ちなみに第一回パチスタ祭の優勝者はシガモン。最下位は5千枚負けの教授で一足先に帰ってしまいました。
やがて時を経てパチスタ祭に番組収録をドッキングさせた新企画「パチスタTV」が新たに始動するのでした。

当時の原稿担当が語る
パチスタ祭〜TV
パチスタTV発初代原稿担当のフドウです。当時は実戦結果をお伝えする手段がパチスタ誌面だけだったので、実戦当日のみんなの更新ブログを全部チェックして、時系列を揃えること細かに結果誌面を作成するのには苦労しました。
やがてパチスタTVへと進化し、結果を伝えるツールとして動画が増えたことで、誌面の編集担当も幾分ラクになったことと思います。
▶パチスタ&クマの掛け合いも健在!

いつか、思い出して欲しい
オレ達のことを…!?

本誌巻頭の挨拶でお知らせしましたように、足掛け12年に渡り発行してきました「月刊パチスタ」が、今号をもって最終号となる運びとなりました。多くのホール関係者様、読者様、視聴者様に「愛顧いただき支えられ、ここまで雑誌を発行し続けてこられたことを、厚く御礼申し上げます…。と。この編集担当は気付くのであります。「このテンションで続けるのはムリ」別れも終了も悲しい!でも最後までパチスタらしくいこうぜ!ってことで、最後に相応しい企画を編集部員みんな、ガンクビ揃えて考えました。そして長年続けてきたパチスタTVの大特集を最後にやっちゃおうってことに決まりました。パチスタTVの軌跡や苦労話として各メンバーごとの名場面をまとめてみました。お手持ちのスマホで名場面をすぐにチェックできるものに便利なQRコードつき(番組の視聴にはWi-Fi接続をオススメします!)
それだけじゃない!さらに10月31日〜11月1日の前代未聞の2日間ぶっ通しパチスタTV公開収録の結果発表に、ラスト収録告知も!パチスタ最高峰企画パチスタTVの総まとめ、さらにパチスタ最終号記念特集の全14ページ。どうかご自身の思い出と重ね合わせながらお付き合下さいませ。

改めておさらいタイム! パチスタTVってこんな感じ

基本的にひとつのホールにつき1ホール限定の特別企画。福岡・山口でホールが別つて事や、結果発表ページを伴わない「番外編」もあり。もしも重資金が尽きても帰っちゃいけない鬼ルール。
結果ページで、そして番組で当日の「喜」憂が綴られる。開催日には、パチスタ編集部員達は文字通り「生活を賭けてこの実戦に挑んでいた」のであった。

きっかり言うと
ざっくり言うと

き1ホール限定の特別企画。福岡・山口でホールが別つて事や、結果発表ページを伴わない「番外編」もあり。もしも重資金が尽きても帰っちゃいけない鬼ルール。
結果ページで、そして番組で当日の「喜」憂が綴られる。開催日には、パチスタ編集部員達は文字通り「生活を賭けてこの実戦に挑んでいた」のであった。

▲パチスタ誌面と番組の双方向から当日の結果を発表。番組での露出が少なかった(目立たなかった)メンバーの様子や理由も、誌面で明らかに!!

意外!?初収録店舗は
山口県のあのホール

パチスタTVとして、記念すべき第一回の収録ホールは、山口県岩国市の「マルキン岩国店」でした。博多にあるパチスタ編集部からは遠隔地ということもあり、山口県に前入りして挑んだ初収録。そして異様なテンションでの翌日の作戦会議(ただの家呑み?)や、今はもういないメンバーの顔ぶれが収録されていたりと、今となってはなかなか見応えのある初収録番組となっております。
ちなみに福岡県での初収録ホールは、福岡市南区の「スペースインパルス」でした。
初期は複数の番組群で構成されていたパチスタTV。第11回以降は「前半」「後半」の2パートでの番組配信を行ってきました。以後パチスタ最高峰企画として今日に至ります。



初収録日は2011年の9月。これが記念すべきパチスタTVの始まりでした。

パチスタTVレコード

パチスタTV全76回開催(※)を対象とした燦然と輝く記録の数々を発表!

パチスタスタッフトータル収支

最高記録 +19,972枚
第14回開催(参加人数:12名)

最低記録 ▲23,380枚
第20回開催(参加人数:12名)

意外にも最高と最低を叩き出したのは一年以内。それだけ血気盛んな時期だったのでしょうか。全てをトータルしての総合収支は、恐らく吐き気がする程のマイナス…。

パチスタTV歴代最多開催ホール

福岡県 8回
BEAM ASAKURA (旧 BEAM CHIKUSHINO)
BEAM HIKARIが次点の7回開催。グループ全体では20回以上の開催を誇る。「パチスタTVといえばビーム」。

山口県 5回
W彦島店
山口県での最多開催店舗はW彦島店。下関市だから福岡市博多区の編集部からも比較的遠い易かった!?

パチスタTV Final Contents

パチスタTV2デイズ公開収録結果発表…P17 パチスタTV史上初となる2日間(10/31~11/1)連続公開収録。リタイアなく完走できたのか!?	パチスタTVにまつわるアレコレ…P11 パチスタTVの由来や意外に知られていないこと、歴代の記録等をご紹介します。
パチスタTV公開収録告知…P22 泣いても笑ってもこれがラスト!!パチスタTV最終公開収録に参加しよう!!	パチスタクマが選ぶ!パチスタTV各場面集…P12 パチスタTV結果発表に尽力してくれた2人が、各編集部員ごとに印象深い名場面をセレクト。

※開催ホール名は、開催当時の店舗名を使用しています。店名が新たに変更されたホールや、閉店等により現存しないホール名もあります。予めご了承下さいませ。※スマートフォンでの番組視聴は、膨大なパケット通信量の消費に繋がる恐れがあります。Wi-Fi接続を行う等、通信環境をお確かめの上ご視聴下さい。